

令和7年2月1日

世田谷区立奥沢中学校
校長 高林 敏彦 様

和みの学び舎
世田谷区立奥沢中学校
委員長 児玉 晃和

令和6年度 奥沢中学校 学校関係者評価委員会結果報告

本年度の学校関係者評価結果を下記の通りとりまとめましたので、ご報告します。
今回の学校関係者評価結果を学校運営にご活用いただき、奥沢中学校が一層発展されることを委員一同祈念いたします。

I. 学校関係者評価結果について

1. 回収率と評価結果の概要について (数値：肯定評価 +対前年比増 -対前年比減)

(1) 回収率

生徒91.1%(+6.4 ^{ポイント})	保護者37.3%(-21.4 ^{ポイント})	地域52.1%(-7.1 ^{ポイント})
--------------------------------	----------------------------------	--------------------------------

(2) 評価結果の概要

① 前年よりも肯定的評価が増加した項目数

生徒10/30→9/31	保護者13/44→11/44	地域8/16→10/16
--------------	----------------	--------------

*昨年度と質問内容が変わっている場合があります。

② 回答の概要(前年→本年)

	肯定的評価が60%以上	肯定的評価が50%未満
生徒	28/30(93%)→29/31(94%)	1/30(3%)→1/31(3%)
保護者	39/44(89%)→32/44(73%)	0/44(0%)→3/44(7%)
地域	15/16(94%)→15/16(94%)	1/16(6%)→1/16(6%)
教員	14/14(100%)→14/14(100%)	0/14(0%)→0/14(0%)

*設問数に対する肯定的評価の数

*%は四捨五入で表記

③ 特に肯定的評価が高かった項目(80%以上)

生徒

- 3-(2) 93%(+2^{ポイント}) 学校行事は、達成感がある。
- 3-(1) 93%(+2^{ポイント}) 学校行事は、楽しい。
- 1-(1) 92%(-4^{ポイント}) 先生は、課題について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中で取っている。
- 3-(3) 90%(+2^{ポイント}) 先生は、生徒の意欲を大切にしている。
- 5-(1) 88%(-5^{ポイント}) 先生たちは、生徒にいてねいに指導している。
- 2-(3) 86%(+5^{ポイント}) 私は、先生が指導した学校での過ごし方やルールについて理解できる。
- 1-(3) 86%(-6^{ポイント}) 授業では、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある。
- 2-(1) 86%(-1^{ポイント}) 私は、学校での過ごし方やルールについて考えて行動している。
- 2-(2) 86%(+1^{ポイント}) 先生は、学校での過ごし方やルールを生徒に考えさせて指導している。
- 8-(2) 84%(-2^{ポイント}) 学校生活の中で、お互いに認め合うことや相手の立場を想像することを心がけている。

- 6-(1) 84%(-3 票) 学校生活は、楽しい。
- 1-(4) 84%(-10 票) 先生は、映像やタブレットなどのICTを利用し、分かりやすい授業をしている。
- 1-(2) 82%(-10 票) 先生は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している。

保護者

- 3-(1) 93%(+5 票) 学校行事は、子どもにとって楽しい。
- 3-(2) 88%(+3 票) 学校行事は、子どもにとって達成感がある。
- 13-(3) 88%(+4 票) 学校生活や行事では、子どもたちが活躍するチャンスがある。
- 12-(2) 86%(-2 票) 本校は、避難訓練やセーフティ教室などで、子どもに安全に関する指導をしている。
- 8-(1) 85%(+3 票) 本校は、様々な便りなどで、保護者に情報を提供している。
- 7-(1) 83%(-2 票) 部活動は、子どもにとって楽しい。
- 8-(4) 83%(+2 票) 本校は、学校公開や保護者会などで、生徒の様子が分かる。
- 12-(3) 81%(+9 票) 本校は、自然災害時の対応を子どもや保護者に提供している。
- 13-(2) 81%(-2 票) 子どもは、学校生活の中で、お互いに認め合うことや相手の立場を想像することを心がけている。
- 6-(5) 81%(-3 票) 本校の教育活動は、子どもの成長につながる。
- 10-(2) 81%(-1 票) 私は、学校行事、TA や地域主催の行事などにすすんで協力している。

地 域

- 2-(1) 100%(+5 票) 学校行事の内容は充実している。
- 3-(1) 100%(+2 票) 学校からのお知らせ(学校だより)などにより、学校の様子が分かる。
- 6-(2) 97%(+14 票) 学校は、安全性を高めようと地域と協力している。
- 4-(1) 97%(+14 票) 学校の重点目標が明確である。
- 6-(1) 97%(+9 票) 学校は、安全な学校づくりを進めている。
- 7-(1) 95%(+5 票) 生徒は地域のために積極的にボランティア活動をしている。
- 7-(2) 95%(+2 票) 学校は、地域に協力的である。
- 2-(2) 92%(-1 票) 事前の準備や当日の案内などで、地域への配慮がある。
- 4-(2) 89%(+1 票) 地域の意見に対して、学校はていねいに説明・対応している。
- 3-(4) 86%(±0 票) 学校のホームページに、学校からのお知らせや学校生活の様子が分かる情報が掲載されている。
- 5-(1) 86%(-4 票) 地域の人や施設を教育活動に活かしている。
- 3-(3) 81%(-2 票) 学校公開や道徳授業地区公開講座などで学校の様子が分かる。

教 員

- 2-(1) 100%(±0 票) 学校は、学校での過ごし方やルールを生徒に考えさせて指導している。
- 3-(3) 100%(±0 票) 私は、生徒の意欲を大切にしている。
- 4-(2) 100%(±0 票) 自分の進路や将来の仕事について、考える授業がある。
- 4-(3) 100%(+6 票) 学校は、進路や将来の仕事に関する情報を提供している。
- 5-(1) 100%(±0 票) 私たちは、生徒にていねいに指導している。
- 1-(1) 89%(-5 票) 私は、課題について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中で取っている。
- 1-(2) 89%(+1 票) 私は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している。
- 1-(3) 89%(-5 票) 授業では、考えたことを話し合ったり、発表し合ったりする機会がある。
- 1-(4) 89%(+8 票) 私は、映像やタブレットなどのICTを利用し、分かりやすい授業をしている。
- 3-(1) 89%(-11 票) 学校行事は、楽しいと思わせる工夫をしている。
- 3-(2) 89%(-11 票) 学校行事は、達成感があると感じさせるものになっている。
- 5-(2) 89%(+8 票) 私たちに、生徒は相談しやすい。

④ 50%未満の項目(昨年度より増減)

生 徒

- 6-(5) 37%(-6 票) 学び舎の小学校に行ったり、小学生が来たりする機会がある。

保護者

- 1-(2) 42%(-13 票) 本校は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している。
- 13-(4) 44%(-7 票) 子どもは、地域のために積極的にボランティア活動をしようとしている。
- 10-(3) 49%(-2 票) 私は、今年度の学校の指導の重点を理解している。

地 域

- 5-(2) 49%(+1 票) 学校協議会や合同学校協議会が役割を果たしている。

教 員

- <<該当なし>>

< 1 回収率と評価結果の概要についての考察 >

- 回収率が保護者 37.3%とかなり低い数値で気になる。回収方法に問題があるのか、保護者のアンケートへの関心度が低いのか、アンケート方法に工夫が必要なのか検証した方がよい。業者経由(区アンケート)は回収への問いかけがしにくい点や質問数が多いのも原因にあげられるかもしれない。また、保護者の回答に「E：分からない」の割合が増加している点が気になる。それに反して親の行事への参観は例年通りで、学校行事に関する回答は例年通りで評価も高い。
- 先生方の学習指導、生活指導、学校行事についてほぼ 80%～90%代と高い水準であることは例年通りであり、特に学校行事には大変高い評価を得ている。「評価」に関して肯定が少ないのは 3 年生の肯定的回答が下がっているためで、1・2 年ではその傾向はない。保護者のアンケート結果では、学年が高いほど評価が高い。
- 「先生たちは、相談しやすい」に関しては、生徒・保護者ともに肯定的評価が下がっている点については昨年度も課題となっていた。
- 「学び舎」に関して肯定的評価が低いのは、実状がどうであったか知らない生徒が多くいたためと思われる。どのような活動が行われているのか、みんなに分かってもらえる必要がある。

2. 重点項目に沿った評価 (数値：肯定評価 +対前年比増 -対前年比減)

(指標は全部 80%以上を目指す。すでに超えている個所は向上を目指す。)

- ① 分かる喜びのある授業、考える意欲が高まる授業、未来を見据える学びのある授業を展開し、学びに向かう力を育てる。

生 徒

- 1-(1) 92%(-4 票) 先生は、課題について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中で取っている。
- 4-(2) 65%(-13 票) 私は、キャリア・パスポートに書いた目標について、考えて行動している。
- 8-(1) 73%(-6 票) 授業で学んだことについて、興味を持つことがある。

保護者

- 1-(1) 58%(-12 票) 本校は、子どもが考えることや、課題を解決することを大切に授業を行っている。
- 4-(2) 68%(+1 票) 本校は、子どもの進路や将来のことについて考える授業がある。
- 13-(1) 68%(-6 票) 子どもは、授業で学んだことについて興味を持つことがある。

教 員

- 1-(1) 89%(-5 票) 私は、課題について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中で取っている。
- 4-(2) 100%(±0 票) 自分の進路や将来の仕事について、考える授業がある。

- ② 関わり合い、認め合い、支え合う人間関係づくりと相談活動の充実により、社会性と自尊感情を育て

る。

生徒

- 5-(2) 68%(±0 票) 先生たちは、生徒が相談しやすい。
- 8-(2) 84%(-2 票) 学校生活の中で、お互いに認め合うことや相手の立場を想像することを心がけている。
- 8-(3) 80%(-9 票) 学校生活や行事では、みんなが活躍するチャンスがある。

保護者

- 5-(2) 59%(-9 票) 本校は、子どもや保護者が相談しやすい。
- 13-(2) 81%(-2 票) 子どもは、学校生活の中で、お互いに認め合うことや相手の立場を想像することを心がけている。
- 13-(3) 88%(+4 票) 学校生活や行事では、子どもたちが活躍するチャンスがある。

教員

- 5-(2) 89%(+8 票) 私たちに、生徒は相談しやすい。

③ 開かれた学校づくりを通して、保護者・地域と連携して、生徒の健全育成を進めるとともに、地域を愛し、地域に貢献する態度を育てる。

生徒

- 8-(4) 59%(±0 票) 地域のために積極的にボランティア活動をしている。

保護者

- 8-(4) 83%(+2 票) 本校は、学校公開や保護者会などで、生徒の様子が分かる。
- 11-(1) 61%(-11 票) 本校は、地域の人や施設を教育活動に生かしている。
- 13-(4) 44%(-7 票) 子どもは、地域のために積極的にボランティア活動をしている。

<2 重点項目に沿った評価についての考察>

① について

先生方が例年通り工夫して授業を行っている結果、生徒から通り高い評価を得ている。保護者の方からの評価は回答率が低いこと、「E: 分からない」の割合が高いことがマイナスになったのが要因である。教員でも 11% が「E」であるため肯定は 100%であり、先生方は常に努力されている様子が分かる。以上から目標が達成されていると評価できる。

② について

先生方は 100%生徒の意欲を大切に指導している結果、生徒は学校生活を良好に過ごし、ほぼ 80%が達成感をえている。先生方は相談しやすい環境を考えているが、生徒・保護者はその様と考えている割合が、前年度より低くなっている。学校内で生徒の性格などを考慮した相談方法や、保護者も相談できる時間をつくっていただく必要があるのか。先生方の忙しい中での工夫がどうなっているか実状を知りたい。保護者 8(4)と保護者 10(1)の回答のずれが気になる。

③ ボランティア活動については、地区祭りへの参加など限られた機会での意見と思われる。地域でのボランティア活動の機会はあるのか、生徒 8(4)、保護者 11(1)の回答から考えたい。

3. 地域との連携・協働について (数値: 肯定評価 対前年比増 対前年比減)

① 広報活動・情報提供

保護者

- 8-(1) 85%(+3 票) 本校は、様々な便りなどで、保護者に情報を提供している。
- 8-(2) 63%(-2 票) 本校は、ホームページやメールなどで、保護者に情報を提供している。
- 8-(3) 54%(-7 票) 「学び舎」の区立(幼稚園・)小学校について情報が提供されている。
- 8-(4) 83%(+2 票) 本校は、学校公開や保護者会などで、生徒の様子が分かる。

地 域

- 2-(2) 92%(-1 票) 事前の準備や当日の案内などで、地域への配慮がある。
- 3-(1) 100%(+2 票) 学校からのお知らせ(学校だより)などにより、学校の様子が分かる。
- 3-(2) 70%(+3 票) 「学び舎」の活動について、情報が提供されている。
- 3-(3) 81%(-2 票) 学校公開や道徳授業地区公開講座などで学校の様子が分かる。
- 3-(4) 86%(±0 票) 学校のホームページに、学校からのお知らせや学校生活の様子が分かる情報が掲載されている。
- 4-(2) 89%(+1 票) 地域の意見に対して、学校はていねいに説明・対応している。

② 地域との連携

保護者

- 11-(1) 61%(-11 票) 本校は、地域の人や施設を教育活動に生かしている。
- 11-(2) 68%(-14 票) 本校は、地域の活動などに協力的である。
- 11-(3) 61%(-6 票) 本校は、地域に情報を提供している。

地 域

- 5-(1) 86%(-4 票) 地域の人や施設を教育活動に活かしている。
- 5-(2) 49%(+1 票) 学校協議会や合同学校協議会が役割を果たしている。
- 5-(3) 62%(-7 票) 学校運営委員会は活動を周知し、役割を果たしている。
- 6-(2) 97%(+14 票) 学校は、安全性を高めようと地域と協力している。

<3 地域との連携・協働についての考察>

① について

保護者には十分に情報が提供している。その情報が提供される方法がHP、メール以外ということは紙ベースのお便りも多いのであろうか。地域の方々には学校の様子が「学校だより」など様々な方法や機会ですぐに伝えられている。例年の課題である、小学校との連携に関して、生徒・保護者に十分認識されてはいないという結果となっている。

②について

学校の安全性と地域との協力はしっかりできている。

保護者のマイナスポイントは「E：分からない」のポイント増加の結果である。地域との連携がどのように行われているかの情報不足か関心の程度の低さが原因ではないか。

「学校協議会や合同協議会」は例年通りでポイントは低い。現状、学校協議会が行われていないので、当然低くなる。これも情報不足が原因であると思われる。現状の状況を周知・アナウンスできるとよい。

4. 各項目について (数値：肯定評価 +対前年比増 -対前年比減)

① 学習指導について

生 徒

- 1-(1) 92%(-4 票) 先生は、課題について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中で取っている。
- 1-(2) 82%(-10 票) 先生は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している。
- 1-(3) 86%(-6 票) 授業では、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある。
- 1-(4) 84%(-10 票) 先生は、映像やタブレットなどのICTを利用し、分かりやすい授業をしている。
- 1-(5) 76%(-9 票) 先生は、提出物やテストなどを分かりやすく評価している。
- 8-(6) 70%(-10 票) 少人数授業(英語)は、授業内容の理解を深めるのに役立っている。

保護者

- 1-(1) 58%(-12 票) 本校は、子どもが考えることや、課題を解決することを大切にした授業を行っている。
- 1-(2) 42%(-13 票) 本校は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している。
- 1-(3) 68%(-6 票) 本校は、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある。
- 1-(4) 53%(-19 票) 本校は、映像やタブレットなどのICTを利用し、分かりやすい授業をしている。

- 13-(6) 69%(+1 票) 少人数授業(英語)は授業内容の理解を深めるのに役立っている。

教 員

- 1-(1) 89%(-5 票) 私は、課題について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中で取っている。
- 1-(2) 89%(+1 票) 私は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している。
- 1-(3) 89%(-5 票) 授業では、考えたことを話し合ったり、発表し合ったりする機会がある。
- 1-(4) 89%(+8 票) 私は、映像やタブレットなどのICTを利用し、分かりやすい授業をしている。

② 生活指導について

生 徒

- 2-(1) 86%(-1 票) 私は、学校での過ごし方やルールについて考えて行動している。
- 2-(2) 86%(+1 票) 先生は、学校での過ごし方やルールを生徒に考えさせて指導している。
- 2-(3) 86%(+5 票) 私は、先生が指導した学校での過ごし方やルールについて理解できる。

保護者

- 2-(1) 63%(-12 票) 本校は、学校での過ごし方やルールについて子どもに考えさせる指導をしている。
- 2-(2) 69%(-14 票) 本校は、教員が指導した学校での過ごし方やルールについて子どもが理解している。

地 域

- 1-(1) 78%(-3 票) 通学している子どもたちは、交通ルールなどを守っている。

教 員

- 2-(1) 100%(±0 票) 学校は、学校での過ごし方やルールを生徒に考えさせて指導している。
- 2-(2) 78%(-3 票) 生徒は、先生が指導した学校での過ごし方やルールについて理解している。

③ 学校行事(運動会、学習発表会、宿泊行事など)について

生 徒

- 3-(1) 93%(+2 票) 学校行事は、楽しい。
- 3-(2) 93%(+2 票) 学校行事は、達成感がある。
- 3-(3) 90%(+2 票) 先生は、生徒の意欲を大切にしている。

保護者

- 3-(1) 93%(+5 票) 学校行事は、子どもにとって楽しい。
- 3-(2) 88%(+3 票) 学校行事は、子どもにとって達成感がある。
- 3-(3) 80%(+4 票) 本校は、子どもの意欲を大切にしている。

地 域

- 2-(1) 100%(+5 票) 学校行事の内容は充実している。
- 2-(2) 92%(-1 票) 事前の準備や当日の案内などで、地域への配慮がある。

教 員

- 3-(1) 89%(-11 票) 学校行事は、楽しいと思わせる工夫をしている。
- 3-(2) 89%(-11 票) 学校行事は、達成感があると感じさせるものになっている。
- 3-(3) 100%(±0 票) 私は、生徒の意欲を大切にしている。

④ キャリア教育について

生 徒

- 4-(1) 67%(-----) 学ぶことが楽しい。
- 4-(2) 65%(-13 票) 私は、キャリア・パスポートに書いた目標について、考えて行動している。
- 4-(3) 69%(-6 票) 自分の進路や将来の仕事について、考える授業がある。

- 4-(4) 68%(-3 歳) 学校は、進路や将来の仕事に関する情報を提供している。

保護者

- 4-(1) 61%(-6 歳) 本校は、キャリア・パスポートの目標について子どもに考えさせる指導をしている。
- 4-(2) 68%(+1 歳) 本校は、子どもの進路や将来のことについて考える授業がある。
- 4-(3) 58%(+1 歳) 本校は、進路や将来の仕事に関する情報を提供している。

教 員

- 4-(1) 67%(-21 歳) 生徒は、キャリア・パスポートに書いた目標について、考えて行動している。
- 4-(2) 100%(±0 歳) 自分の進路や将来の仕事について、考える授業がある。
- 4-(3) 100%(+6 歳) 学校は、進路や将来の仕事に関する情報を提供している。

⑤ 教職員について

生 徒

- 5-(1) 88%(-5 歳) 先生たちは、生徒にていねいに指導している。
- 5-(2) 68%(±0 歳) 先生たちは、生徒が相談しやすい。

保護者

- 5-(1) 69%(-11 歳) 本校は、丁寧な指導している。
- 5-(2) 59%(-9 歳) 本校は、子どもや保護者が相談しやすい。

教 員

- 5-(1) 100%(±0 歳) 私たちは、生徒にていねいに指導している。
- 5-(2) 89%(+8 歳) 私たちに、生徒は相談しやすい。

⑥ 全般について

生 徒

- 6-(1) 84%(-3 歳) 学校生活は、楽しい。
- 6-(2) 77%(+2 歳) 学校生活は、達成感がある。
- 6-(3) 66%(+1 歳) 私は、家庭で宿題やタブレットなどのICTを利用しての学習をしている。
- 6-(4) 80%(+11 歳) 私は、塾で学習をしている。
- 6-(5) 37%(-6 歳) 学び舎の小学校に行ったり、小学生が来たりする機会がある。
- 6-(6) 70%(-2 歳) 私は、体力の向上や健康な生活に取り組んでいる。

保護者

- 6-(1) 78%(-6 歳) 本校の学校生活は、子どもにとって楽しい。
- 6-(2) 71%(-7 歳) 本校の学校生活は、子どもにとって達成感がある。
- 6-(3) 56%(-3 歳) 子どもは、家庭で宿題やタブレットなどのICTを利用しての学習している。
- 6-(4) 59%(-11 歳) 本校は、近隣の(幼稚園・)小・中学校で構成する「学び舎」の(幼稚園・)小学校に行ったり、(幼児・)小学生が来たりする機会がある。
- 6-(5) 81%(-3 歳) 本校の教育活動は、子どもの成長につながる。
- 6-(6) 66%(-4 歳) 子どもは、体力の向上や健康な生活に取り組んでいる。

⑦ 部活動について

生 徒

- 7-(1) 73%(±0 歳) 部活動は、楽しい。
- 7-(2) 73%(+4 歳) 部活動で達成感を感じる。

保護者

- 7-(1) 83%(-2 歳) 部活動は、子どもにとって楽しい。
- 7-(2) 76%(-4 歳) 部活動は、子どもにとって達成感がある。

⑧ 学校からの情報提供について

保護者

- 8-(1) 85%(+3 票) 本校は、様々な便りなどで、保護者に情報を提供している。
- 8-(2) 63%(-2 票) 本校は、ホームページやメールなどで、保護者に情報を提供している。
- 8-(3) 54%(-7 票) 「学び舎」の区立(幼稚園・)小学校について情報が提供されている。
- 8-(4) 83%(+2 票) 本校は、学校公開や保護者会などで、生徒の様子が分かる。

地 域

- 3-(1) 100%(+2 票) 学校からのお知らせ(学校だより)などにより、学校の様子が分かる。
- 3-(2) 70%(+3 票) 「学び舎」の活動について、情報が提供されている。
- 3-(3) 81%(-2 票) 学校公開や道徳授業地区公開講座などで学校の様子が分かる。
- 3-(4) 86%(±0 票) 学校のホームページに、学校からのお知らせや学校生活の様子が分かる情報が掲載されている。

⑨ 学校運営について

保護者

- 9-(1) 69%(+1 票) 本校は、保護者に指導の重点を伝えている。
- 9-(2) 61%(-9 票) 本校は、教職員が指導の重点を理解して教育活動に取り組んでいる。
- 9-(3) 56%(-16 票) 本校は、地域に情報を提供している。

地 域

- 4-(1) 97%(+14 票) 学校の重点目標が明確である。
- 4-(2) 89%(+1 票) 地域の意見に対して、学校はていねいに説明・対応している。

⑩ 家庭と学校の連携について

保護者

- 10-(1) 59%(-8 票) 私は、学校公開にすすんで参加している。
- 10-(2) 81%(-1 票) 私は、学校行事、PTA や地域主催の行事などにすすんで協力している。
- 10-(3) 49%(-2 票) 私は、今年度の学校の指導の重点を理解している。

⑪ 地域との連携について

保護者

- 11-(1) 61%(-11 票) 本校は、地域の人や施設を教育活動に生かしている。
- 11-(2) 68%(-14 票) 本校は、地域の活動などに協力的である。
- 11-(3) 61%(-6 票) 本校は、地域に情報を提供している。

地 域

- 5-(1) 86%(-4 票) 地域の人や施設を教育活動に活かしている。
- 5-(2) 49%(+1 票) 学校協議会や合同学校協議会が役割を果たしている。
- 5-(3) 62%(-7 票) 学校運営委員会は活動を周知し、役割を果たしている。

⑫ 学校の安全性について

保護者

- 12-(1) 73%(-4 票) 本校は、安全な学校づくりを進めている。
- 12-(2) 86%(-2 票) 本校は、避難訓練やセーフティ教室などで、子どもに安全に関する指導をしている。
- 12-(3) 81%(+9 票) 本校は、自然災害時の対応を子どもや保護者に提供している。

地 域

- 6-(1) 97%(+9 票) 学校は、安全な学校づくりを進めている。

- 6-(2) 97%(+14 票) 学校は、安全性を高めようと地域と協力している。

⑬ 本校独自の項目

生徒

- 8-(1) 73%(-6 票) 授業で学んだことについて、興味を持つことがある。
- 8-(2) 84%(-2 票) 学校生活の中で、お互いに認め合うことや相手の立場を想像することを心がけている。
- 8-(3) 80%(-9 票) 学校生活や行事では、みんなが活躍するチャンスがある。
- 8-(4) 59%(±0 票) 地域のために積極的にボランティア活動をしようとしている。
- 8-(5) 74%(-14 票) 学校図書館を利用して調べ学習をしている。
- 8-(6) 70%(-10 票) 少人数授業(英語)は、授業内容の理解を深めるのに役立っている。

保護者

- 13-(1) 68%(-6 票) 子どもは、授業で学んだことについて興味を持つことがある。
- 13-(2) 81%(-2 票) 子どもは、学校生活の中で、お互いに認め合うことや相手の立場を想像することを心がけている。
- 13-(3) 88%(+4 票) 学校生活や行事では、子どもたちが活躍するチャンスがある。
- 13-(4) 44%(-7 票) 子どもは、地域のために積極的にボランティア活動をしようとしている。
- 13-(5) 69%(-9 票) 学校生活や学習・行事では、子どもはレジリエンス[粘り強さ]を身につける場面がある。
- 13-(6) 69%(+1 票) 少人数授業(英語)は授業内容の理解を深めるのに役立っている。

地域

- 7-(1) 95%(+5 票) 生徒は地域のために積極的にボランティア活動をしている。
- 7-(2) 95%(+2 票) 学校は、地域に協力的である。

<4 各項目についての考察>

①学習指導について

生徒の評価はやや下がっているが、ほとんど肯定が80%を超えている。特に、自分で考え、友達と考える時間に評価が高い。保護者の回答は「E：分からない」と正直な回答が増え、否定的な回答よりも肯定的評価が多数を占めている。先生方の回答も昨年同様に肯定的であり、努力されている様子がうかがえる。

②生活指導について

先生方がしっかり指導されており、生徒もそれに答えるようにルールを考え行動している肯定的な回答が占めている。保護者の回答傾向は①と同様である。

③学校行事について

生徒・保護者・教員が一致して高い評価が例年通り得られている。奥沢中学の伝統が生きており、活発に行われている様子がうかがえる。

④キャリア教育について

キャリア・パスポートについて運用に生徒の肯定感が下がり、先生方も感じているようであり、もう一度そのあり方を見直してみてもどうか。キャリア教育全般に肯定的評価が下がっている点気になる。

「学ぶことが楽しい」という初めての質問に答える割合はこの程度であるのか、今後もっと肯定的回答が増えることを期待したい。

⑤先生について

先生方は自信をもっていねいに生徒を指導しており、それに対して生徒も肯定的にとらえており、良好な関係をもって中学校の毎日が送られている。その反面、相談し易さがやや下がっており工夫が必要と感じる。

⑥全般について

学校生活は楽しいと感じているとの質問に例年通り肯定的な回答がほとんどであるが、若干の生徒が否定的である点に注目していただきたい。

「奥沢中学での教育活動が子供の成長につながっている」点に保護者の方の否定的な意見がみられず素晴らしいと感じた。

塾で学習している生徒が増加し3学年すべてで8割となったが、タブレットを利用するなどの家庭

での学習に関しては例年通りの結果であった。

⑦部活動について

否定的な評価が減り、部活動に参加している生徒は楽しく、達成感のある活動ができている。

⑧本校独自項目について

すべての項目で昨年と比べ肯定的な回答が減少した。肯定的な回答を8割が目標とするとボランティア活動への積極的な参加が望まれる。世の中では地震・水害が頻発しており、そのような場面でボランティア活動が人々を救っている実態もある。そこまでは中学生に課することはできないが、地域の祭りなどの手伝いなど、ボランティア活動の場を地域とのつながりで広めることも必要に思う。図書館に関するアンケートでは内容が調べ学習という点で図書館利用の減少が目立つが、図書館自体は充実している。今後も生徒にとって使いやすい施設であり続けることを望む。

Ⅱ. 学校関係者評価委員としての総合評価

1. 評価方法は適切か。

例年通りの評価方法であるが、アンケート内容を評価委員に事前に知らせ検討した方がよい。

今回、保護者の回収率が低かったので、来年度に向けて方法など考慮して頂きたい。

「わからない」という意見はどのようなことを意味する回答なのであろうか。書きづらい、言いづらいことを示すことができる質問項目が必要ではないか。

2. 内容は適切か。

ほとんどの項目が例年通りの内容であり、世田谷区共通のものであるが、質問の文面を再考する機会も必要ではないか。

3. 総合所見

奥沢中学は少人数の学校であり、教員数も限られている中で教育活動、学校行事、クラブ活動など生徒・保護者・地域の方々からアンケートを通して、肯定的に捉えられている。働き方改革の中、クラブ活動が達成感につながっている点も素晴らしい。これも先生方の日頃のご指導の成果である。アンケート結果を通して奥沢中学の伝統を維持されてきていると感じる。生徒や保護者も時代とともに変わって行く。また校舎の建て直しも行われ、その間様々な点で学校生活に支障があると思われる。今後改善していくべきこともあると思われるが、生徒たちのために努力されることを望みたい。